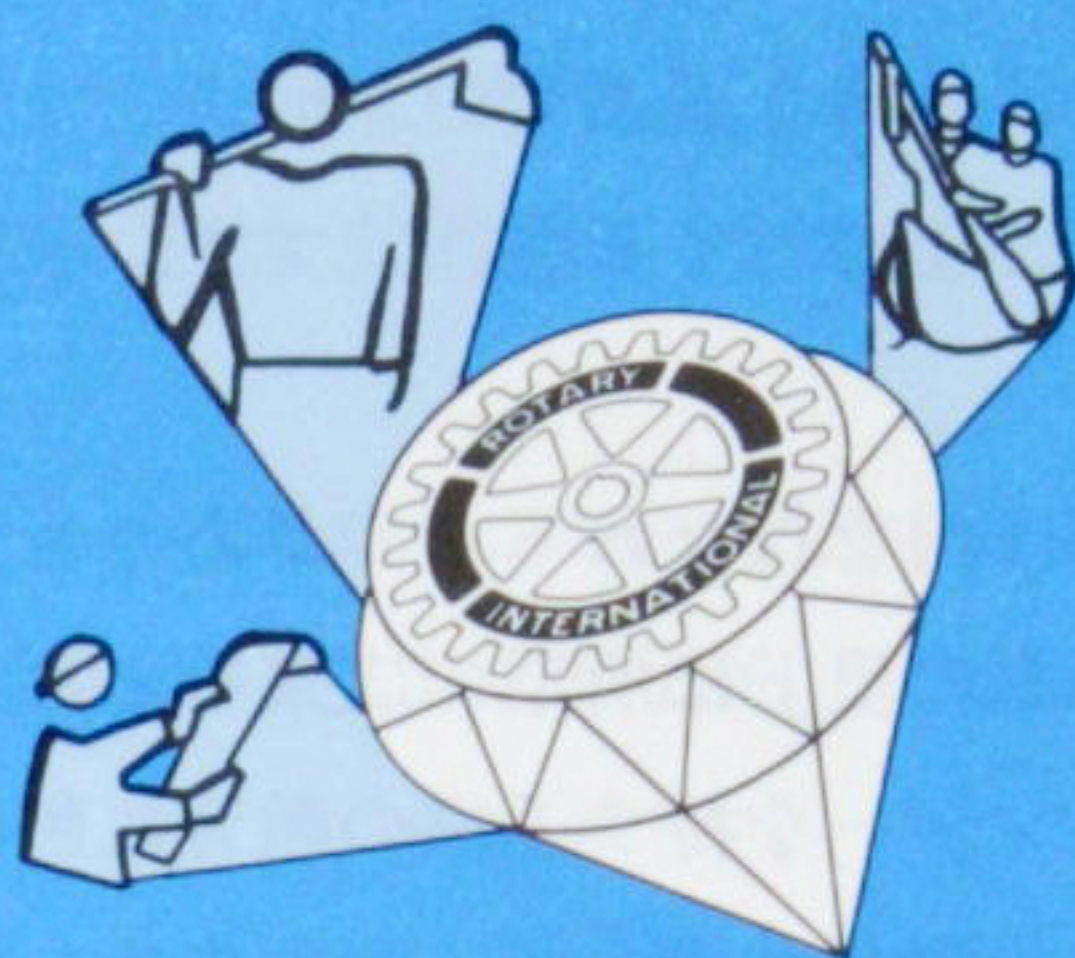


ENJOY ROTARY!



# ロータリーを 楽しもう!



1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長    ヒュー M. アーチャー    ● 第 256 地区ガバナー    吉野 一郎
  - 会 長——小林 英雄    ● 副会長——小林九満太    ● 幹事——五十嵐昭一
  - S A A——近藤 雄介、渡辺 喜彦    ● 例会日——毎週水曜日 12:30~
  - 例会場——三条市旭町 2-5-10 三条信用金庫本店 内 TEL 34-3311
  - 事務局——三条市旭町 2-5-10 TEL 35-3477
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——古沢 富雄、渋谷 正一、高橋 清見、小林 正義

出席者会員数	会員 75名中 46名
先々週出席率	91.78% (前年同期 91.67%)
今日のお花	ヒマワリ、アスパラ
ヴィジター	三条南より 鈴木幸一君、山崎 昇君、葦沢喜一郎君 三条北より 高橋彰一君、落合益夫君、山上茂夫君 燕より 五十嵐荘一君
ゲ ス ト	青少年育成センター 所長 長谷川直子殿
先週のメイクアップ	5/26 糸魚川中央10周年へ 藤田説量君 5/27 群馬境20周年へ 五十嵐昭一君、平原信行君 5/28 三条南へ 堀川政雄君、加藤紋次郎君、小林九満太君、 近藤雄介君、佐藤信次郎君、渡辺惣吉君、 金沢興宗君 5/29 三条北へ 五十嵐晋三君、佐野勝栄君、渋谷健一君、 大谷幸平君、丸山金重君、堀川政雄君
会 長 挨拶	小林(英)会長

去る24日、「いからしの里」創立10周年記念式典に出席し、当クラブへの感謝状を戴き

ました。当クラブは「いからしの里」創立時に国旗掲揚塔を寄贈し、その後クリスマスの時期には、毎年プレゼント持参で訪問し、園生と楽しい一時を過ごすのが恒例となっています。10年間にわたり先輩ロータリアンが奉仕されたことに対する感謝状です。先輩各位に心から敬意を表します。

初代園長で県央福祉会理事長酒井誠治先生の式辞には胸を打たれるものがありました。関係者のご努力により、精神薄弱者更生施設「いからしの里」は所期の成果をあげておられるとのこと。酒井先生は教職時代から心身にハンデーを持つ子供の教育に熱心な先生でしたが、退職後も精神薄弱者の更生、教育に情熱を注がれました。酒井先生を中心とした熱心な方々がおられたお陰で、この県央地区にいくつもの更生施設が出来たものと思います。その信念のもとに、一つのことに情熱を燃やし、80歳をこえてもなお元気にこの仕事に打ち込んでおられる姿は、誠に立派であり素晴らしい生き方であると尊敬申し上げます。

#### 幹事報告 五十嵐(昭)幹事

◎例会変更のお知らせ!

燕RC——5月31日(木) PM6:30 ~ 於 明治屋新館

吉田RC——6月15日(金) 休会 6月16日~17日 一泊移動例会の為

◎インイ出版より

第256地区 地区幹事 石井省三著 「新改訂版ロータリー役員必携」のご案内

1989年度改正事項 改訂済 1冊 1,800円

◎原ガバナーノミニ事務所より

・1990~91年度地区大会のご案内

とき 1990年10月13日(土)~14日(日)

ところ 新津市市民会館

記念講演 薬師寺管長(奈良) 高田好胤<sup>こういん</sup>下

・1990~91年度地区大会俳句吟行会

とき 1990年7月7日(土)

吟行地 新津市金津地区 石油の里を中心に

句会 料亭「新森」

◎水原RCより 30周年式典ご参加お礼状がとどいております。

#### 6月のお祝い

◎会員誕生祝 6日 石橋育於君 6日 平原信行君 10日 杉野奎司君  
16日 五十嵐寿一君 18日 高橋一夫君 24日 捧賢一君

◎夫人誕生祝 10日 木許早智子さん(紘一) 26日 松川和子さん(星吾)  
27日 高森定子さん(昭光)  
◎結婚記念 5日 木許紘一君

#### ニコニコボックス ¥12,000

小林(英)君 24日いからしの里10周年記念式典で感謝状を頂きました。クラブの皆様のお陰です。  
三条市青少年育成センター所長長谷川直子殿のご来会に感謝申し上げます。  
6月12日の入場券まだ150枚位残っています。完販にご協力をお願いします。

五十嵐(昭)君 本年度最後の地区の会合群馬境20周年に参加致しました。吉野ガバナーの本年度終了のあいさつを感激を持って聞かせて頂きました。

高橋(一)君 本成寺の管長さんより庭園改修の件で感謝状を頂きました。

小林(九)君 北欧4ヶ国10日間の旅を楽しんで来ました。夜は11時過ぎまで明るい白夜でした。

榎本君 本日の卓話長谷川直子所長をお迎えして。

清水君 過日5月26~27日に第一中学校の同期会を伊香保温泉ホテル天坊で行いました。90名の参加で和気あいのうちに楽しく過ごして参りました。本日卓話の講師長谷川直子氏も参加されました。卓話を期待致します。

平原(信)君 男性会員の中にあり、女性の卓話スピーチをやっていられるプログラム委員会に感謝して……。

石橋君 長谷川所長をお迎えして。

荻根沢君 社会奉仕委員です。来る6月12日、日本音楽集団コンサートご協力お願い致します。

伊藤君 晴天の日ジェットホイルで小林会長さんと佐渡ロータリー20周年記念に参加させて頂きました。有難うございました。

#### 卓話

三条市青少年育成センター センター長 長谷川直子殿

#### 【保育所】

1. 創作童話「ことりとねこの物語」

木に登れない黒猫と、空を飛んだことのない小鳥の話の朗読です。

(テープに収録してあります。ぜひ今一度お聞き下さい。)

## 2. 30年前と近年の保育所と子ども

皆様御免下さいませ、三条市青少年育成センターの長谷川でございます。と申しましてもまだ二か月しかたっておりません。そのまえ32年間は保育所生活にどっぷりと漬かっておりました。

生まれて三ヶ月目から五歳児までの目や心の澄みきった子たちを相手に正直につきあえる相手でした。その子たちの成長育成に援助してまいりました。

そんな関係でただいまは日頃忙しい方々に、懐かしい童心に帰って頂きたく、創作童話を読ませてもらったわけです。

私の保母になったころはホッペがリンゴのように真っ赤な、ごと鼻をだした、足は裸足で下駄履きのそりゆう子供達が多くおりました。月に一回DDT散布があり、手ぬぐいをかぶせて帰すような時代でした。給食は一品だけの給食でした。新卒の私は、その日炊く芝木を折って、マキを割る事から日課がはじまることを記憶しております。今日の保育所は施設完備がとても整っておりまして、子供達はどこを探してもごと鼻をだしている子は見当たらない、ホッペの赤い子もいない。

足には靴下を履き、靴を履き、洋服はブランド製品をさりげなく着こなしている。その半面どろんこ遊びがきたないからと手も足もだしません。なかには砂遊びもできない子供がおります。

これはどうしてかと言うと、保育所に入って来る前にそりゆう経験をさせてもらえなかったことと洋服が汚くなるから、だめよ、いけませんよと親に言われつけて来たためにそりゆうことが出来ないのです。

幼児期にさんさんと降り注ぐ太陽の下でおもいっきり身体をうごかして遊ぶようなひことは気持ち伸びやかになりますし、身体もきたえられます。

土をほじくり、水を使って遊ぶことで子供達ほんらいの姿があらわれ、自発性や、心はぐくまれる訳です。

私たち保育所職員はそりゆう環境になれさせるために環境を設定いたしてドロコ遊びとか、自然の中でおもうぞんぶんに遊ばせる事に心掛けておりました。

給食と言いますと、昔の給食は補い与えるイメージでしたが、最近では三品からのメニューです。もちろん栄養よし、味よし、見た目よしと普通の家庭のお昼とは掛け離れた豪華な食事になっております。

特に生後三カ月から一歳半前後の子供は一人ずつの子供に合わせたメニューが在ります。与える時間もその子に合わせる、おねんねの時間、散歩の時間も合わせて入浴もさせるわ



けです。それはそれは本当にいたれりつくせりです。

世間では、こんなアワッ子なんてかわいそうに集団の中に入れられようが、と言う事が耳に入りますが、私たち職員はわが子、わが孫を入所させたような保育です。天下一の保育と自負いたしております。

### 【青少年育成センター】

社会環境の中から青少年を守り、健全に成長するよう導くため、関係機関、団体及び地域社会と連携を密にし、非行防止・相談・指導等を推進するとともに、環境浄化につとめ、青少年の健全な育成を図るものとする。

#### 1. 事業内容

青少年健全育成 非行防止活動 環境浄化活動 青少年相談 広報活動

#### 2. 非行の現状

県警の防犯部少年課による平成元年度少年非行の県内情報は万引きが増えている。一昨年より10パーセント増、青少年の犯罪の78パーセントが中高生です。女子少年の非行が全体の30パーセントです。

新潟市での話ですが十五、六歳の少女が暴力団組織づくりの動きがありましたが早期発見されて何とかおさえられた。

暴走族の発生により、グループの夜間走行を見に行くというか、ハントされに行くというか、夜遊びしている現象です。そういう青少年の犯罪は全成人をふくめて70パーセントが青少年だそうです。

暴力は家庭内暴力より対教師の暴力が多いそうです、これらの原因は青年自身の問題、生活、家庭環境、家庭の教育に関心があるかないか、そのへんの問題、地域の監視が少なくなったのではないかと。

これは、緩くなったと言えば聞きがよいが無関心になって来ているのではないかと言うことが揚げられました。

社会的要因はマスメディアの発達、地域社会の変化が上げられる。

県警ではどうゆう進め方をするかと言うと、カラオケボックスやテレクラ等風俗商法を悪用させないように対応、慎重にして行きたい事を、地域のじったいに合わせて社会参加活動を推進して行く。

※ 卓話内容は、テープに収録してあります。事務局へ申し出の上、ご利用下さい。

### 高年齢者問題委員会 超スピードの高齢化現象

日本の100歳以上の人は現在2,600人以上で、昭和63年では男562人、女2,106人で、圧倒的に女性が多い。20年前の昭和43年では100歳以上327人で、20年で80倍となった。現在65歳以上の人口は高齢化の国際的指標である。WHOの規定では、人口の7%を超えたとき

は「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」とされている。一番早く65歳以上の人口割合が7%に到達したのがフランスで明治元年の2年前。次がスウェーデンで明治23年。イギリス、ドイツが大正5年で60～100年も前のことである。日本は昭和45年に7%を超えて、高齢化社会の仲間入りをした。日本の65歳以上人口は昭和62年9月で10.9%である。65歳以上の人口割合が14%以上、つまり高齢化社会に達した国を早い国から順に並べると、スウェーデンが昭和45年、ドイツ、イギリスが昭和50年で、これから高齢化社会に突入する国はフランスが平成3年、日本が平成7年、アメリカが2010年である。老年人口が7%から14%になるのにかかる年数は、日本が25年、ドイツ、イギリスが45年、アメリカが65年、スウェーデンが日本の約3倍の80年、フランスはスロースピードで125年である。また老年人口が20～21%の超高齢社会に達する年次は、日本、ドイツ、スウェーデンが2010年頃とみられている。つまり「高齢化社会」から「超高齢社会」になるのに必要な年数は、日本が15年、ドイツが35年、スウェーデン40年ということになる。人口の1/5が65歳以上であるという人類史上初の「超高齢社会」のゴール目指して、日本は先進国の2倍以上の速度で突き進んでいるのである。

---

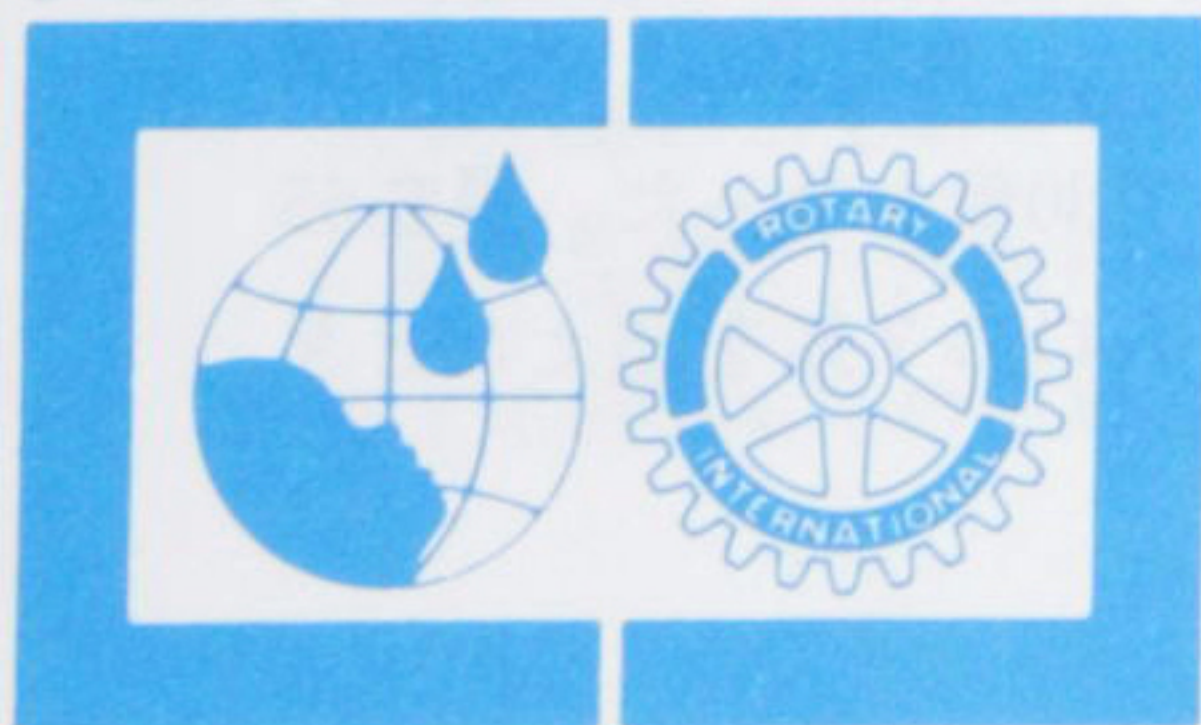
次週例会 6月6日 卓話 男性のオシャレについて  
ポラー北三条営業所 所長 宮島文枝殿・酒井法子殿

---

次々週例会 6月13日 職場例会 於 地場産業振興センター

---

PolioPlus



「開発途上国の新生児を対称に  
ワクチン投与資金協力を」